



平成29年10月5日
独立行政法人国立科学博物館

特別展「古代アンデス文明展」記者内覧会のご案内

国立科学博物館(館長 林 良博)では、2017年10月21日(土)から2018年2月18日(日)まで、特別展「古代アンデス文明展」を開催いたします。

つきましては、**10月20日(金)13:00から記者内覧会を開催**いたします。

ぜひ、この機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「古代アンデス文明展」記者内覧会

【日時】2017年10月20日(金)13:00~14:30(受付開始12:45)

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展会場 (東京・上野公園)

※受付は国立科学博物館 総合案内付近

特別展「古代アンデス文明展」

【会期】2017年10月21日(土)~2018年2月18日(日)

【会場】国立科学博物館

【主催】国立科学博物館、TBS、朝日新聞社

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館
事業推進部 企画展示課 有田・飯岡・三浦
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL:03-3822-0111/FAX:03-5814-9898

<取材に関するお問い合わせ先>

「古代アンデス文明展」広報事務局 (hilo Press内)担当/鎌倉・伊藤・藤村・小林
TEL:03-5577-4792 FAX:03-6369-3596 E-mail:andespr@hilopress.net

ANCIENT CIVILIZATION OF THE
ANDES
古代アンデス文明展
2017年10月21日(土) - 2018年2月18日(日)

記者内覧会/開会式・特別内覧会のご案内
10月20日(金) 13:00~17:00 / 国立科学博物館 (東京・上野公園)

<15:00~17:00 開会式・特別内覧会 プレスの方はこちらの時間帯もご取材いただけます>

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、国立科学博物館、TBS、朝日新聞社は、2017年10月21日(土)から2018年2月18日(日)まで、特別展「古代アンデス文明展」を国立科学博物館(上野)で開催いたします。

南米大陸の太平洋沿岸に展開したアンデス文明は、エジプト文明と同じ時期からあったと言われ、広大な地上絵を描いたナスカ、巨石の文明と言われるティワナク、マチュピチュを含む南北4000kmに及ぶ広範囲を支配したインカ帝国など、数々の個性的な文化を生みだしました。

本展覧会では、アンデス地域に人類が到達した先史時代から、16世紀にスペイン人がインカ帝国を滅ぼすまでの約1万5000年間に、多様な環境に応じて花開いた9つの文化を取り上げ、古代遺物や黄金の仮面、ミイラなど、総数約200点で紹介いたします。

つきましては、一般開幕に先立ち、報道関係の皆様へ事前に公開をさせていただきます。下記の通り記者内覧会を行います。ご多用中とは存じますが、是非ご取材くださりますようご案内申し上げます。

謹白

記



《細かい細工がほどこされた金の装飾品》
シカン文化(紀元800年頃から1375年頃)
ペルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館所蔵 撮影 義井豊

●日 程 2017年10月20日(金)

●会 場 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

●スケジュール 記者内覧会 [会場: 特別展示室]

12:45

受付開始

13:00

特別展示室 開場

13:05

本展監修者、及び学術協力者のご紹介 特別展示室内「第1章」前

*島田泉(南イリノイ大学人類学部教授)

*篠田謙一(国立科学博物館 副館長 兼 人類研究部長)

*鶴見英成(東京大学総合研究博物館助教)

展覧会 概要説明

*島田泉(南イリノイ大学人類学部教授)

13:20

自由内覧

監修者及び学術協力者は、引き続き展示室内におりますので質問がございましたら直接お声がけください。

14:30

終了

開会式・特別内覧会 プレスの方は、この時間帯もご取材いただけます。(撮影も可)

15:00~15:30 開会式

[会場: 日本館2階講堂]

15:30~17:00 特別内覧会

[会場: 特別展示室]

●その他

* 別紙、参加申込書を10月18日(水)までに広報事務局へご返信ください。

* お車での来館はご遠慮ください。

(撮影機材運搬などの関係で必要な場合は事前に広報事務局までお問い合わせください) 以上

FAX03-6369-3596

E-MAIL:andespr@hilopress.net 「古代アンデス文明展」広報事務局 (hilo Press 内)

ANCIENT CIVILIZATION OF THE

ANDES

古代アンデス文明展

2017年10月21日(土) - 2018年2月18日(日)

記者内覧会に出席します

※ご出席される方のみ、10月18日(水)までに広報事務局へご返信ください

◎貴社名:

◎部署名:

◎媒体名/番組名:

◎お名前:

◎参加総数: 人

◎MAIL:

◎放映・掲載予定日: 月 日

◎TEL:

◎FAX:

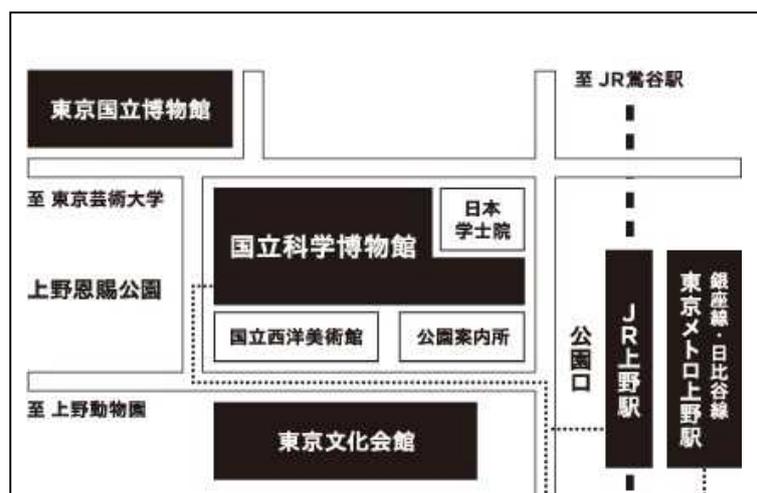
◆撮影について あり (ビデオ・スチール) なし

◆監修者個別インタビュー

(ご要望の方には改めて広報事務局よりご連絡いたします。尚、ご要望にそえない場合もございますのでご了承ください)

取材希望者

所要時間 分



| 会場: 国立科学博物館 (〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20)

| 受付: 国立科学博物館 総合案内付近

JR上野駅公園口より徒歩5分、東京メトロ上野駅・京成線京成上野駅より徒歩10分

駐車場はございません。お車での来館はご遠慮ください

本件に関するお問い合わせ
「古代アンデス文明展」広報事務局[hilo Press 内]
担当/鎌倉・伊藤・藤村・小林
TEL:03-5577-4792 FAX:03-6369-3596 MAIL:andespr@hilopress.net

<情報の取り扱いについて> ご記入いただいた情報は、関連情報や他展覧会、イベント等のリリースをお送りさせていただく以外、使用いたしません。

ANCIENT CIVILIZATION OF THE

ANDES

ナスカ、ティワナク、そしてインカ帝国へ

© ムラタサトル

古代 アンデス文明展

国立科学博物館 東京・上野公園

2017.10.21 SAT → 2018.2.18 SUN

MUMMY



「チリバヤ文化のミイラとその副葬品(女性幼児)」ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館所蔵

TIWANAKU



ティワナク遺跡(ボリビア)

UYUNI SALT LAKE



ウユニ塩湖(ボリビア)

神と人がおりなす 聖なる時空

南米大陸の太平洋岸に展開した、時間的にも空間的にもあまりに巨大で複雑な文明の全体像を、私たちはまだほとんど知りません。時間的には先史時代から16世紀にスペイン人がインカ帝国を滅ぼすまでの約15000年間、空間的には南北4000km、標高差4500mに及ぶ広大な地域で、ナスカ、モチェ、ティワナクなど多種多様な文化が盛衰を繰り返しました。これらの文化の魅力と個性を紹介してきたのが、1994年に国立科学博物館で開催した「黄金の都シカン発掘展」にはじまり、2012年「インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年」まで5回の展覧会を開催、400万人以上を動員した「TBSアンデス・プロジェクト」です。その集大成といえる今回の特別展「古代アンデス文明展」では、いくつもの文化が連なり、影響を与え合う中で育まれた神々の神話や儀礼、神殿やピラミッドをつくり上げる優れた技術、厳しくも多彩な自然環境に適応した独自の生活様式などを、アンデス文明を代表する9つの文化と選び抜かれた約200点の貴重な資料によって明らかにします。

カラル文化

(紀元前3000年頃から前2000年頃)



「青年像」カラル遺跡博物館所蔵——カラルはペルー中部海岸スーペ谷で漁労を中心に繁栄した遺跡。土器が使われる以前(先土器文化)の巨大神殿遺跡で、この土偶も土をこねているだけで焼成していない。

チャビン文化

(紀元前1300年頃から前500年頃)



「差し込み用の突起付きの石の頭」ペルー文化省・国立チャビン博物館所蔵——チャビン・デ・ワンタル神殿の壁に差し込まれていた石の頭像。神への変身の過程を描いている。

ナスカ文化

(紀元前200年頃から紀元650年頃)



「リヤマが描かれた土器」ティダクティコアントニーニ博物館所蔵——地上絵で有名なナスカだが、土器にもすぐれて芸術的なものが多い。適度に抽象化されているこの土器の絵もその一つ。

モチェ文化

(紀元200年頃から750/800年頃)



「黄金製の神像」ペルー文化省・国立博物館所蔵——モチェ文化はペルー北海岸で繁栄したユニークな土器と華麗な黄金製品で有名な文化。牙が生えているのはアンデス文明の神の特徴の一つ。

ティワナク文化

(紀元500年頃から1100年頃)



「トルコ石の象眼された黄金の頭飾り」先コロンブス期貴金属博物館/ボリビアラバソ市所蔵——ペルー北海岸は黄金製品が潤沢なことで有名だったが、山の中の文化ティワナクにもこのような黄金製品があった。黄金は腐食しないため「永遠の生命」の象徴であった。

ワリ文化

(紀元650年頃から1000年頃)



「リヤマをかたどった土器」ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館所蔵——ラクダ科のリヤマは運搬・織物のための採毛・食肉などの用途でアンデスには欠かせない家畜だ。この香炉の高さは約70cmもある大きなもの。

シカン文化

(紀元800年頃から1375年頃)



「金の合金製のシカン神の仮面」ペルー文化省・国立シカン博物館所蔵——アンデスの多神教の風土の中で、シカンではこの仮面のような「アーモンド・アイ」をした「一神教的な」神が頻出する。

チムー文化

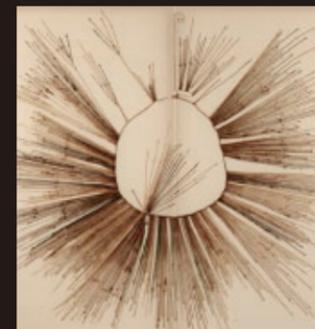
(紀元1100年頃から1470年頃)



「儀式用人物像カップ」リマ美術館所蔵——ペルー北海岸でシカンの後継国家として繁栄したチムーは、15世紀にインカ帝国とアンデスの支配権を最終的に争った強大な王国。これは細かな装飾を施した儀式用のカップ。

インカ帝国

(紀元15世紀早期から1572年頃)



「キープ」ペルー文化省・ミイラ研究所・レイメバンバ博物館所蔵——高度に文明化されていたインカには文字がなかった。そのため、キープという紐に結び目を作り情報を記憶した。

アンデス文明のミイラ

(紀元900年頃から1440年頃)



「チリバヤ文化のミイラとその副葬品(男性幼児)」ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館所蔵——チリバヤ文化では、死後にミイラとなった人々もあたたかま生きていたかのようにコミュニティの一員として受け入れられていた。

アンデスプロジェクト、ついに最終章

本展覧会で紹介する9つの文化の主な遺跡

SICAN

〈シカン文化〉シカン遺跡

CHIMU

〈チム文化〉チャン・チャン遺跡

MOCHE

〈モチェ文化〉ワカス・デ・モチェ遺跡

CHAVIN

〈チャビン文化〉チャビン遺跡

CARAL

〈カラル文化〉カラル遺跡

HUARI

〈ワリ文化〉ワリ遺跡

INKA

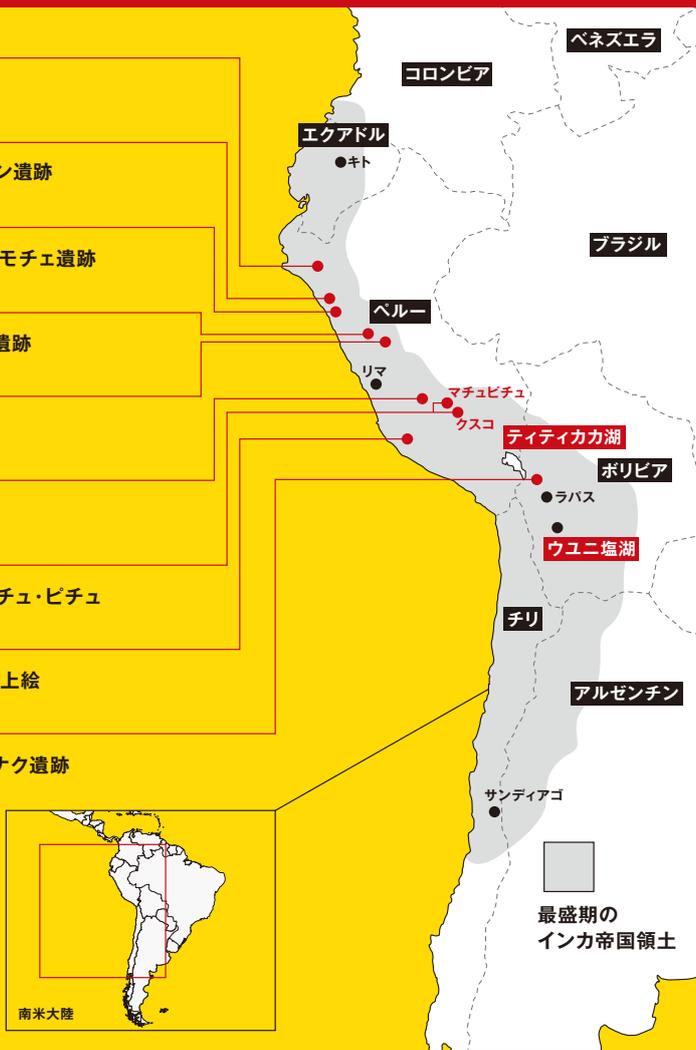
〈インカ帝国〉クスコ / マチュ・ピチュ

NASCA

〈ナスカ文化〉ナスカの地上絵

TIWANAKU

〈ティワナク文化〉ティワナク遺跡



国立科学博物館とTBSで開催した、アンデス文明の展覧会



黄金の都
シカン発掘展
(1994年)



世界遺産ナスカ展—
地上絵の創造者たち
(2006年)



アンコール!
世界遺産ナスカ展—
地上絵ふたたび (2008年)



インカ帝国のルーツ
黄金の都シカン
(2009年)



インカ帝国展—
マチュ・ピチュ「発見」100年
(2012年)

特別前売券

グッズ付チケット
各 2,000円 (税込)

【販売期間】
2017年10月20日(金)まで発売
一般入場券と
展覧会オリジナルグッズが
セットになった、
数量限定のチケット。
各コンビニレイガイドで発売。

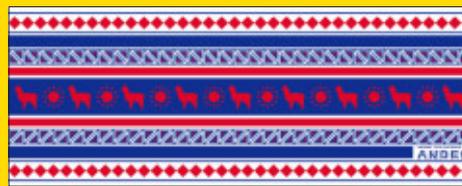
オリジナル豆皿



オリジナルキュービー



オリジナル手ぬぐい



※商品がなくなり次第、販売終了とさせていただきます。※「グッズ付チケット」は、1セットのお申込みで一般入場券1枚と「グッズ引換券」1枚がセットで発売。
※グッズは本展覧会の開館日及び開館時間内に限り【古代アンデス文明展】第2会場内のショップでお引き換えください。※画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。

通常前売券 / 当日券

	前売券	当日券
一般・大学生	1,400円	1,600円
小・中・高校生	500円	600円

※前売券は10月20日(金)まで発売

金曜土曜限定ペア得ナイト券 2,000円

※金曜土曜限定ペア得ナイト券は、金曜・土曜夜間(午後5時~午後8時、最終入場午後7時30分)入場可/会場での当日販売のみ/2名様同時入場、男女問わず。

※未就学児は無料。※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様は無料。※会期中1名様1回限り有効。※本券の変更、払戻、再発行はできません。※本券で本展覧会を観覧された方は、同日に限り常設展もご覧いただけます。※営利目的の転売禁止。
販売場所: 国立科学博物館(休館日を除く)、展覧会公式サイト、セブン・イレブン(セブンコード:056-375)、ローソンチケット(Lコード:31528)、チケットぴあ(Pコード:991-064)、イープラス、ほか各プレイガイド



国立科学博物館
〒110-8718
東京都台東区上野公園 7-20

JR「上野駅」公園口から徒歩5分 / 東京メトロ有楽線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分 / 京成線「京成上野駅」から徒歩10分
※駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください。

開館時間: 9時~17時(金曜日・土曜日は20時まで)
休館日: 毎週月曜日(1月8日(月)、2月12日(月)は開館)、12月28日(木)~1月1日(月)、1月9日(火)
※入館は各開館時刻の30分前まで。
※諸事情により、開館時間・休館日等を変更する場合がありますので公式ウェブサイト等で確認下さい。

主催: 国立科学博物館、TBS、朝日新聞社
共催: BS-TBS
後援: 文部科学省、外務省、ペルー大使館、ボリビア大使館、TBSラジオ
協賛: 三井物産、こだま印刷
協力: NTTドコモ、クントウル・ワシ調査団、国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館

お問い合わせ TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898

「古代アンデス文明展」公式サイト
http://andes2017-2019.main.jp/andes_web/

国立科学博物館 TBS 朝日新聞